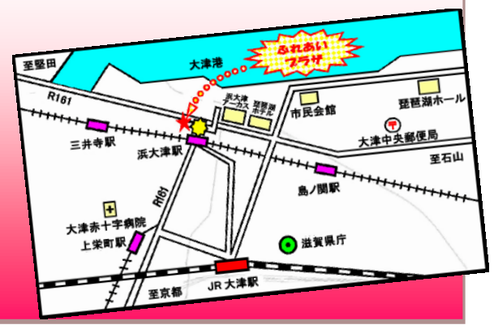
第13回通常総会のご案内

多くの会員の皆様のお越しをお待ちしています。

【日時】
平成 29 年 5 月 27 日（土）13:30～
（開場　13:15）

【場所】
明日都　ふれあいプラザ　５階　大会議室

総会の資料は、5/1 頃に送付いたします。



ご寄付ありがとうございました（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月までのご寄付を掲載しています。）

昨年度は多くの方からご寄付をいただきました。皆さまの温かいご支援に心から感謝いたします。貴重な財源として有効に使わせていただきます。

㈱まごころ 様	㈱ラ・ケア 様	城南印刷所 様	㈱プットアップスタイル 様	
越野 緑 様	飯野 佐知子 様	伊吹 良恵 様	谷口 啓 様	土井 裕明 様
佐々木 重男 様	田淵 よしみ 様	大井 英司 様	田中 利勝 様	猿山 由美子 様
田辺 久子 様	佐藤 賢 様	丹澤 洋子 様	鎌倉 夏希 様	鳥居 静夫 様
猪飼 剛 様	濱畑 芳和 様	梅村 芳住 様	藤野 滋 様	宇田 むつみ 様
宮川 正治 様	辻 哲夫 様	山田 武史 様	比嘉 真由子 様	塩原 知子 様
馬場 厚子 様	佐藤 伸隆 様	徳永 眞一 様	谷口 郁美 様	中川 英男 様
山本 哲也 様	大谷 雅代 様	明神 徹郎 様	井狩 英章 様	北村 清 様
鳥嶋 浩延 様	田村 紗野花 様	伏木 奈美 様	塩月 達也 様	苗村 光廣 様
上口 隆宣 様	江隅 定雄 様	筒井 のり子	若林 重一	福井 英夫
青木 浄亮	高野 純	近澤 貴徳	ほか（匿名）16 名 様	（順不同）

寄付のお願い。

権利擁護を多くの方に知っていただくため、講演会などを開催して行きたいと思っています。寄付でご支援頂ける方、よろしくお願い申し上げます。

≪振込先≫
【ゆうちょ銀行】14610-16725551
【滋賀銀行】本店営業部 普通 524265
【口座名義】特定非営利活動法人あさがお
理事長 竹下育男

会員募集。

私たちの活動に、賛同・支援頂ける個人・法人の正会員、賛助会員を募集しています。

【正会員】　個人：年会費 5,000 円　入会金 1,000 円
団体：年会費 50,000 円　入会金 10,000 円
【賛助会員】　個人：年会費 1 口：3,000 円
団体：年会費 3 口：9,000 円以上

今月の一句　彼岸過ぎ　ぼたもち食べて　春を知る　純坊

第 48 号　発行 2017 年 4 月 11 日　認定特定非営利活動法人あさがお　滋賀県大津市浜大津 3 丁目 2-4
電話：077-522-0799　FAX：077-522-0845　HP：http://npo-asagao.sakura.ne.jp　Mail：asagao.npo@image.ocn.ne.jp

2017 春 48号

あさがお通信

Contents
1.　全国フォーラム in 滋賀
2.3.報告
4.　お知らせ

全国権利擁護支援ネットワーク主催
全国フォーラム in 滋賀 が開催されました！

２月 24 日（金）、25 日（土）の２日間、全国権利擁護支援ネットワーク（Asnet-japan）主催の第８回全国フォーラムが、滋賀県大津市のコラボしが 21 で開催されました。権利擁護活動に従事するＮＰＯ法人や社会福祉協議会などが全国から一堂に集まり、話題のテーマについての共有と、交流を図ることができました。

シンポジウム「相模原事件と日本の権利擁護の課題」

日本中に大きな衝撃が走った、「津久井やまゆり園」（神奈川県相模原市）での大量殺傷事件。この事件を受け、施設の建替えや防犯強化が進められようとしています。なによりも大事なことは、「障害を持った人が施設の中で人間として当たり前の生活ができているかどうか」ということです。障害を持つ人のそれぞれの意思が尊重され、地域で主体的に当たり前に暮らせる社会をつくるための権利擁護支援を進めることの必要性を感じさせられました。

シンポジスト
大熊由紀子さん（国際医療福祉大学大学院教授）
久保厚子さん（全国手をつなぐ育成会連合会会長）
清水明彦さん（西宮市社会福祉協議会）
コーディネーター
佐藤彰一さん（全国権利擁護支援ネットワーク代表）

パネリスト
細井洋海さん（芦屋市福祉部地域福祉課長）
中島由美さん（高知市社会福祉協議会）
藤井博志さん（神戸学院大学教授）
コーディネーター
平野隆之さん（日本福祉大学教授）

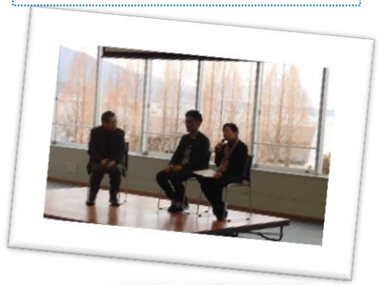
パネルディスカッション「生活困窮者支援と権利擁護」

高知市社協のつながりづくりのための様々な活動、芦屋市の複合的な福祉課題に対応した支援を行うためのトータルサポート係など先進的な取組みが紹介されました。「課題を解決できるサービスに誰がどうつなげるのか」、またサービスがない時は、「それをどう創るのか」。これらを地域の課題と位置づけ、取り組んでいき、生活に困窮する方が孤立しない支援の体制を創っていくことがなにより大切であると学びました。

AOY 授賞式～「さとにきたらええやん」上映会

今年のＡＯＹ（アドボカシー・オブ・ザ・イヤー）を受賞した、映画「さとにきたらええやん」は、大阪・釜ヶ崎にある「ＮＰＯ法人こどもの里」の活動を映したドキュメンタリー映画です。しんどい時に受け入れてくれる「さと」があることの安心感、それが子どもとその親の当たり前の生活を支えているように感じました。「さと」の中で子どもたちが成長していく姿には、観る人誰もが心を打たれたのではないでしょうか。

「さとにきたらええやん」監督：重江良樹さん
「こどもの里」館長：荘保共子さん



懇親会では、滋賀県内の Asnet-japan 加盟メンバーで歓迎セレモニーを行い、滋賀県ならではの名物を紹介しました。
セレモニーにはキャッフィーとおおつ光ルくんが駆けつけ、会場を大いに盛り上げてくれました★

各センターより報告

彦根市権利擁護サポートセンター襷（たすき）

彦根市に権利擁護支援の仕組み作りを提言

権利擁護サポートセンター襷では、「彦根市権利擁護支援システム構築研究会」を設置し、彦根市における権利擁護支援の仕組みを検討し、市に提言しました。

この研究会は学識経験者、弁護士、司法書士、社会福祉士、高齢者・障害者の相談援助事業関係者、社会福祉協議会職員、彦根市職員（高齢担当課、障害担当課の課長補佐）計９名から成り、昨年度、９回会議を開催しました。途中、市高齢・障害・児童担当課、社会福祉協議会からヒアリングし、また、市内の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、障害相談支援事業所を対象に困り事現状調査を実施しました。これらを踏まえ、彦根市のあるべき権利擁護支援の仕組みについて議論し、３月28日、市への提言としました。

今後は、この提言内容の実現に向け取り組みを進めていきます。

大津市障害者虐待防止センター

平成28年度障害者虐待防止啓発について

平成２８年４月より大津市から大津市障害者虐待防止センターの委託を受け、①障害者虐待の通報受付、②養護者による虐待の防止・相談や対応、③広報・啓発活動に取り組んでいます。ここでは、啓発活動の実績をお伝えします。

虐待防止の啓発活動実績

①障害福祉サービス事業所に出向き虐待についての広報【４９事業所】
②出前講座として事業所や団体等を対象に、虐待防止の講座を開催【４５回】
③障害福祉サービス職員向け虐待防止研修会【３回】
④障害福祉サービス職員向け公開講座【１回(外部講師)】
⑤市民向け虐待防止学習会【１回(外部講師)】
⑥障害当事者向け虐待防止講座【１事業所(３回)】

これからも、障害者虐待への対応だけに留まらず、虐待防止の研修会の開催やハイリスク事案の相談対応を通じて、虐待の未然防止に力を入れ取り組んでまいります。

大津市権利擁護サポートセンター

「市民向け権利擁護実践者養成研修」を開催

『市民後見推進事業』の一環として、１月１１日より全６日間にわたり「市民向け権利擁護実践者養成研修」を開催し、２２名が参加され、そのうち全講義を受講された１８名の方が、修了証を授与されました。

研修では高齢者や障害者の権利擁護に関する講義・演習等を行いました。毎回、受講生の皆さんからは多くの意見や質問が出され、講師の先生方とも意見を交えながら非常に熱心に研修に取り組まれていました。

なお、本研修と昨年 11 月に開催した権利擁護サポーター研修の両方を修了された方から３名を職員採用し、この春から後見活動員として活躍していただきます。

研修報告

「アメニティーフォーラム 21」に参加

２月１０日（金）～１２日（日）ＮＰＯ法人全国地域生活支援ネットワーク主催の「アメニティーフォーラム２１」が大津プリンスホテルで開催されました。このフォーラムは、障害者の地域生活を推進するための全国的なネットワークを作ることを目的に毎年開催され、福祉関係者、市民団体、NPO、政治家、官僚、行政職員など、全国から１５００人を超える人が参加する福祉の祭典といえます。

この催しは、早朝から午前零時過ぎまで様々なセッションやゼミが開かれるというハードスケジュールで、情報発信・ディスカッション・交流が繰り広げられる中、会場は熱気を帯び、参加者はふらふらになりながら（？）、ハイテンションで充実した３日間を過ごしました。

今回「発達障害」、「累犯障害者・高齢者」や「生活困窮者自立支援」をテーマとしたプログラム等、全国の先駆的な取組みを聴講し、大変刺激を受けました。

また、今年は「津久井やまゆり園」で起こった殺傷事件について多くの登壇者が「障害があってもなくても、地域で当たり前に暮らせる社会の実現」を訴えられました。そして、フォーラムの最後にはその想いを載せた「アピールメッセージ」が参加者全員の総意として出され、決意を新たにしました。

新任職員の紹介

中川 英男（専門員）

この４月より「あさがお」に非常勤専門員として勤務しました中川と申します。「あさがお」には立ち上げ前から社会福祉士として関わらせていただいてきました。今後は現場で関わらせていただきます。よろしくお願いいたします。

笹山 明彦（後見活動員）

定年退職後、社会貢献活動をしたいとの思いから、色々と模索していましたが、偶然にもこの度「あさがお」の仲間に入れていただくことになりました。人との出会いは偶然性もあり、そこで、又、コミュニティが生まれることを期待しています。初心者マークで、どこまで突っ走れるかわかりませんが、誠心誠意取り組みたいと思いますので、皆様方の御指導宜しくお願いします。

木村 正江（後見活動員）

昨秋の市民啓発セミナーで「あさがお」の権利擁護活動を知り、後見活動員の働きに関心を持ちました。サポーター研修、実践者養成研修と受講を続ける中で、何か私にも貢献できることがあったらなぁと思うようになり、この春はいよいよ「あさがお」のお仲間に加えていただくことになりました。不器用者ですが、精一杯頑張ります。どうぞよろしくご指導お願いいたします。

久保田 恵美子（後見活動員）

４月から後見活動員として活動することになりました久保田と申します。成年後見活動に携わる中で制度を必要とされる方々と一緒に権利擁護について考え、学んでいきたいと思います。

ご指導の程、よろしくお願い致します。

馬渕 仁美（相談員）

1月より彦根市権利擁護サポートセンター襷で働いております。相手の思いをしっかり聴き、どんなことにも丁寧に向き合うことを大切にしたいと思っています。周囲の方々から信頼していただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。